いなべ市における

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

本年4月17日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、いなべ市の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、 生活習慣等の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮し、今後のいなべ市の教育の一層の充実を図ってまいります。

1 小学校

I いなべ市における教科に関する調査結果の分析

1 小学校

【小学校国語A:主として知識】

強み	・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができて
	います。(言語についての知識・理解・技能)
弱み	・登場人物の心情について、情景描写を基に捉え適切なものを選択すること
	に課題がみられます。(読む能力)

【小学校国語B:主として活用】

強み	・計画的に話し合うために、司会の役割について捉えることがほぼできてい
	ます。(話す・聞く能力)
弱み	・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がみられます。
	(読む能力)
	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら
	読むことに課題がみられます。(国語への関心・意欲・態度、書く能力、
	読む能力)

【国語全般に見られる傾向と対策】

- (1) 文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むにできる ようにする
 - 文章内容を的確に押さえるために、どのような情報が必要なのかという目的を明確にもつことや、文章全体の構成を把握しながら読む指導をします。また、自分の考えを明確にするために、必要な情報を選び、他の部分に書かれていることと比較したり、自分の知識や経験などと関係付けたりしながらまとめていく活動も大切にしていきます。
- (2) 内容の中心を明確にしながら、伝えたい内容を整理して書くことができるようにする
 - 自分の考えが相手に伝わるように書くために、事例を挙げて具体的に説明 が書けるように指導します。そのために、必要な資料を集め、得た情報を適 切に関係付けて書くことを大切にします。他教科でも、内容や分量など、条 件にそって書く学習活動の設定や、書いたものを推敲するなどの指導を進め

ていきます。

【小学校算数A:主として知識】

強み	・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することができ
	ています。(数量についての知識・理解)
	・180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大
	きさを求めることができています。(数量や図形についての技能)
弱み	・1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線
	上に表すことに課題がみられます。(数量や図形についての技能)

【小学校算数B:主として活用】

強み	・示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができています。(数
	学的な考え方)
弱み	・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断するこ
	とに課題がみられます。(数学的な考え方)
	・示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の
	式に表現することに課題がみられます。(数学的な考え方)

【算数全般に見られる傾向と対策】

- (1) グラフの特徴を基に、複数の観点で観察したり表現したりことができる ようにする
 - 目的に応じて資料を集めて分類整理し、グラフに表したり、特徴を調べたりする学習場面を設けていきます。また、他教科の学習や日常生活の問題解決において、目的やデータの種類に応じてグラフを作り、考察し結論をまとめようとする態度の育成をめざします。
- (2) 複数の情報を関連付けて論理的に考察し、数学的に表現したり、条件に 合う事柄について、適切に判断したりできるようにする
 - 複数の情報を解釈し関連付けて論理的に考察し、根拠を明確にしながら判断の理由を説明できるように指導していきます。また、事象から規則性を見いだし、変化や対応の関係を基に、条件に合う事柄について適切に判断することも大切にしていきます。

2 中学校

【中学校国語A:主として知識】

強み	・文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすることができています。(言
	語についての知識・理解・技能)
	・慣用句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができています。(言
	語についての知識・理解・技能)
弱み	・目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに
	課題があります。(言語についての知識・理解・技能)

【中学校国語 B:主として活用】

強み	・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができています。(読
	む能力)
	・話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問を考えることができています。
	(国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力)
弱み	・全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことに課題
	がみられます。(話す・聞く能力)
	・相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことに課題がみられま
	す。(書く能力、読む能力、言語についての知識・理解・技能)

【国語全般に見られる傾向と対策】

(1) 目的に応じて話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら話すよう にする

○ 説明や発表などをする際に、話の全体として伝えたいことを明確にし、わかりやすく伝えるために各部分をどのように組み立てるかを考えるように 指導します。また、聞き手の反応も踏まえながら話す指導も大切にしていき ます。

(2) 話の展開を整理して、あらすじにまとめることができるようにする。

○ 各場面の内容や相互の関係を捉え、話の展開を踏まえあらすじをまとめるように指導します。また、自分のまとめたあらすじを仲間と互いに伝え合い、 内容を適切に表現することができているかどうかを確認し合うなど指導内 容の工夫をします。

【中学校数学A:主として知識】

強み	・「絶対数が表す数を求める」「文字式の計算をする」「目的に応じて式を変
	形する」などの計算ができています。(数学的な技能、数量や図形などに
	ついての知識・理解)
	・「比例」「反比例」「一次関数」など関数の意味を理解することができてい
	ます。(数学的な技能、数量や図形などについての知識・理解)
弱み	・与えられた資料から中央値を求めることができることに課題がみられま
	す。(数学的な技能)
	・多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解することに課題がみら
	れます。(数量や図形などについての知識・理解)

【中学校数学B:主として活用】

	・「問題場面における考察の対象を明確に捉えること」「事柄が成り立つ理由を、
強み	構想を立てて説明すること」ができています。(数学的な見方や考え方、数
	学的な技能)
弱み	・四角形の対角線についての証明を振り返り、発展的に考えることに課題が
	みられます。(数学的な見方や考え方)
	・「必要な情報を適切に選択すること」「数学的な結果を事象に即して解釈す
	ること」「事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明すること」に課
	題がみられます。(数学的な見方や考え方、数学的な技能)

【数学全般に見られる傾向と対策】

(1) 付加された条件の下で、新たな事柄を見いだし、説明することができる ようにする

○ 証明を書くとともに、証明を読む場面を設定し、証明の結果や過程を振り 返り、新たな性質を見いだすことができるように指導します。また、問題の 条件を変えたり、新たな条件を加えたりして、発展的に考えることができる ような学習活動を工夫します。

(2) 数学的結果の事象に即した解釈・説明できるようにする

○ 具体的な事象の中に数量の関係を見いだし、文字を用いて式に表現したり、 式の意味を読み取ったりする能力を養うことができるように指導します。説 明の際には、説明すべき事柄とその根拠の両方を示し、数学的な表現を用い て完結にわかりやすく伝えられることを大切にします。

1 小学校

強み

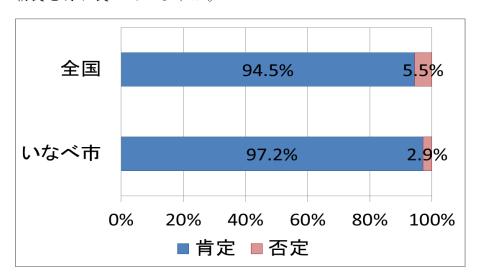
Ⅱ 質問紙調査(児童生徒用)におけるいなべ市の

特徴的な傾向と分析

1 小学校

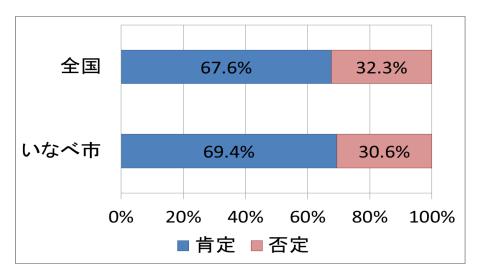
【強み】

(1) 朝食を毎日食べていますか。



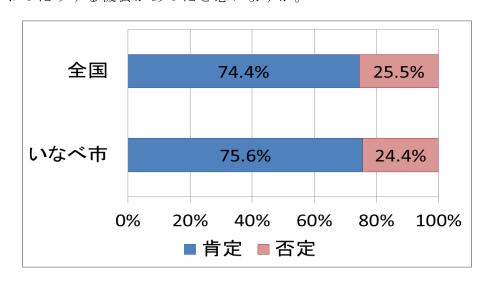
☆ 早寝・早起き・朝ごはん。基本的な生活習慣が整っていることがうかが えます。

(2) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



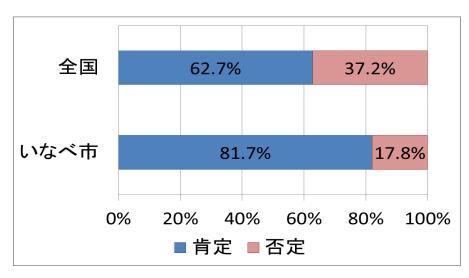
☆ 帰宅後に計画を立てて、家庭学習に取り組む姿勢がうかがえます。

(3) 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。

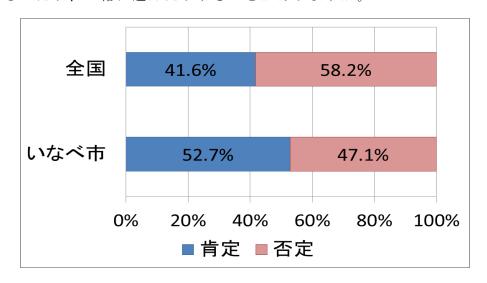


☆ 地域の施設を見学したり、米作りなどの学習で地域の方に教えていただいたりと、地域学習を大切にした学びが進められています。

(4) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

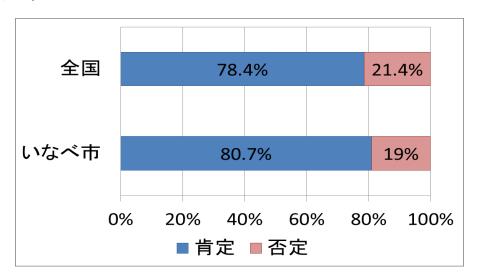


☆ 地域に、子どもたちが参加しやすい行事が実施されており、その行事に 地域の一員として参加する意識の高さと所属感の充実がうかがえます。 (5) 地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えても らったり、一緒に遊んだりすることがありますか。



☆ 地域の方が指導者となり、野球やサッカーなどのスポーツに取り組む様子 がうかがえます。

(6) 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。



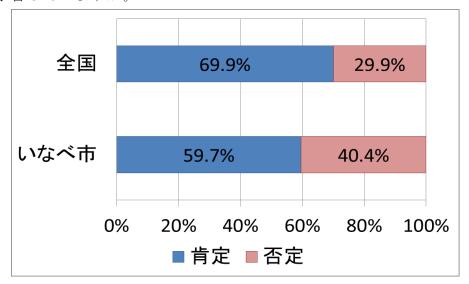
☆ 算数の授業で大切にしている、一人ひとりがよく考え、多様な考えを引き出していく授業展開が、意欲を持って問題に取り組もうとする姿を育てていると捉えています。

1 小学校

弱み

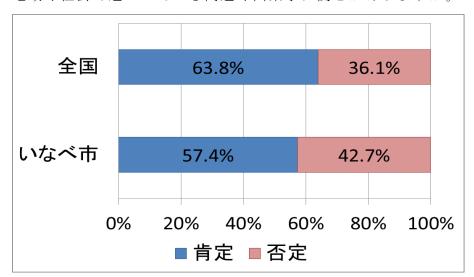
【弱み】

(1) 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら 学習していますか。



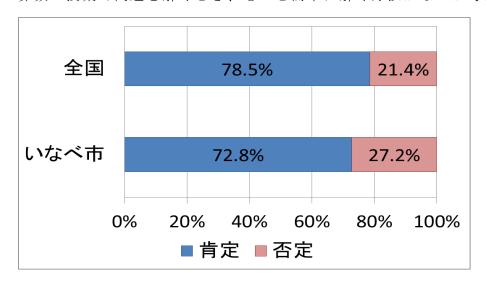
☆ 漢字・計算・音読以外の教科書を用いた予習や復習を行う自学も家庭学習の一つとして取り入れていくことを大切にしていきます。

(2) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。



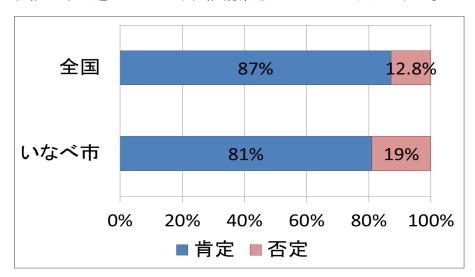
☆ 社会で起こっている問題や出来事への関心の低さがあります。新聞やニュースなどから関心を広げ、スピーチで仲間に伝えるような取組を大切にしていきます。

(3) 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。



☆ 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えることができているという肯定的な回答が多くありました。今後は、より簡単に解くにはどの方法がよいのかという考え方も大切に授業づくりを工夫していきます。

(4) 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。



☆ 生活科や理科、未来いなべ科 (総合的な学習の時間) などで、自然の中 で遊ぶことや自然観察の楽しさを体験できる活動を大切にしていきます。

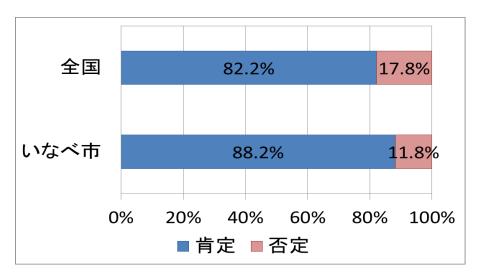
2 中学校

強み

2 中学校

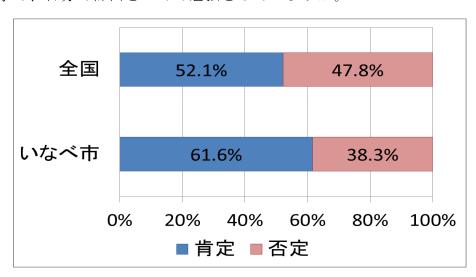
【強み】

(1) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

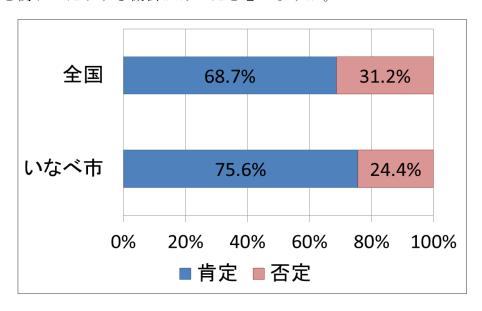


☆ 学習や生活の場面で、先生が一人ひとりのよさを認めていること、また 生徒自身がそれを感じ、先生を信頼していることがうかがえます。

(2) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

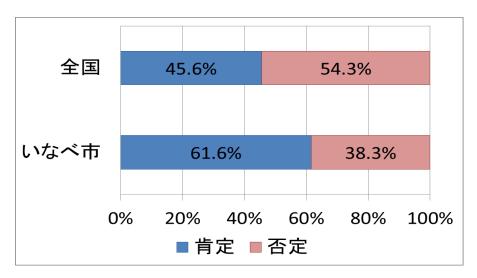


☆ 家庭学習の取組の成果として自主的な学習姿勢が育ってきています。家 庭学習の仕方については今後も各校が継続して取り組んでいきます。 (3) 1、2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。

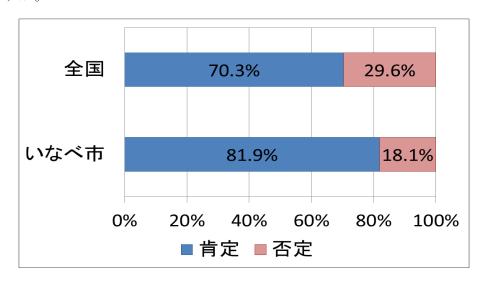


☆ 職業体験を通して、地域の人と関わる取組などが行われています。

(4) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

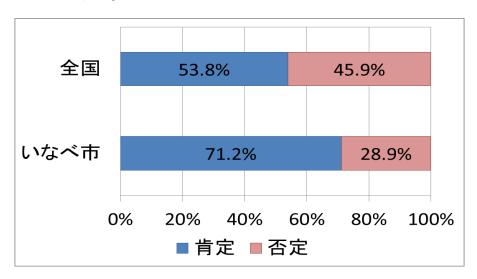


☆ 小学校児童と同じように、中学校生徒にも、地域の一員としての意識の 高さと所属感の充実がうかがえます。 (5) 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。



☆ 小学校児童と同じように、中学校生徒にも、一人ひとりがよく考え、意 欲を持って問題に取り組もうとする姿を育っていることがうかがえます。

(6) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の 考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表してい たと思いますか。



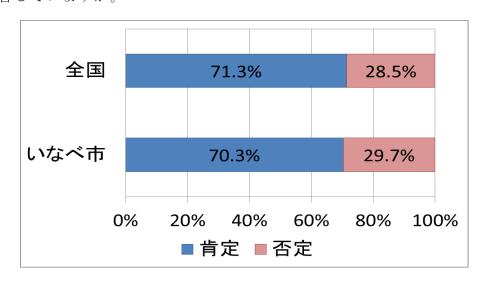
☆ グループ活動などで、自分の考えを伝えたり、説明したりする機会を増 やしてきた成果だと捉えます。

2 中学校

弱み

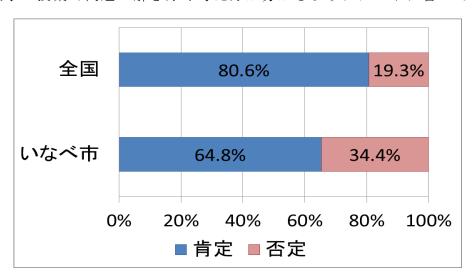
【弱み】

(1) 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら 学習していますか。



☆ 小学校児童と同じように、教科書を用いた予習や復習を行う自学も家庭 学習の一つとして取り入れていくことを大切にしていきます。

(2) 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

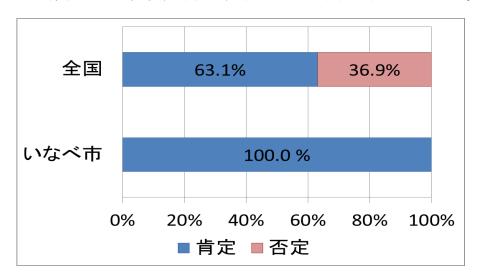


☆ 授業におけるノート指導の工夫と充実は「わかる授業」に向けた大切な 要素の一つであると捉えています。論理的な解き方の習得や自分の考えを まとめるためにも、ノートを活用しての学習活動に今後も取り組んでいき ます。

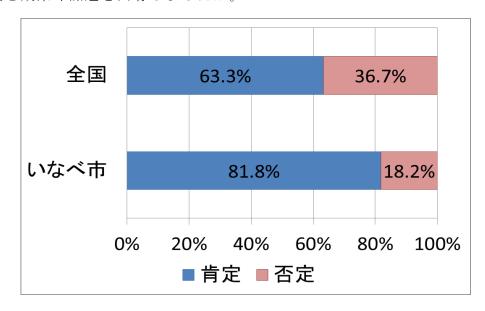
Ⅲ 質問紙調査 (学校用) におけるいなべ市の特徴的な傾向と分析 (小学校)

【強み】

(1) 前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する 共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。

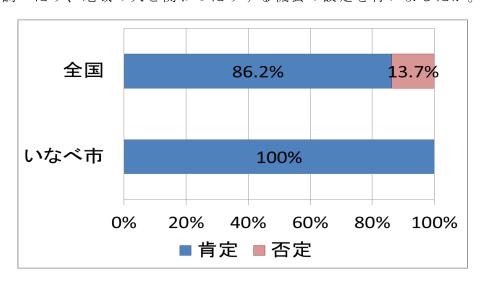


- ☆ 小中一貫教育推進のために、各中学校区が共通の目標設定を行うなど取組を進めています。今後も小中一貫教育の充実に向け、中学校区での取組を継続していきます。
- (2) 平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか。



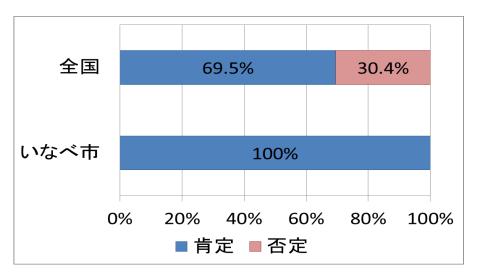
☆ 学力に関わる成果や課題の共有も小中一貫教育推進の中で行われています。

(3) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか。



☆ 地域を教材にした学びや地域の人からの学びを今後も大切にしていきます。

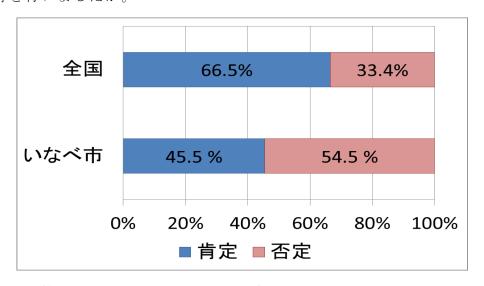
(4) 前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。(国語/算数共通)



☆ 年間数回、授業づくりに関わる研修会が、小中一貫教育推進の中で行われています。

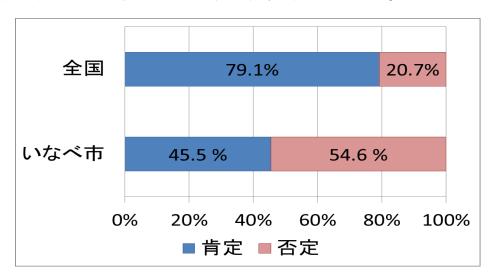
【弱み】

(1) 調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。



☆ 国語・算数の指導と同様に、理科の補充的な学習指導も、今後大切にして いきます。

(2) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために 何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか。



☆ 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする中で、多くの学びがありました。今後は、自分たちがこれからの地域や社会にどう関わっていけるかということも視野に入れた指導を工夫していきます。

Ⅳ いなべ市の取組について

1 NRTの実施

毎年4月、小2年生~中3年生を対象に、NRT(標準学力検査)を実施しています。 前学年の学習内容における学力の定着状況を明らかにし、児童生徒の「強み」「弱み」に 基づいた効果的な学習指導の在り方を検証していきます。

2 指導主事等による学校訪問

教職員の指導力向上を図るため、指導主事や学力向上特別指導員を派遣し、授業改善のための指導・助言を行います。

Ⅴ 各学校における学力向上の取組について

1 学級集団づくり

学力向上の土台となるのは、児童生徒の学習環境の充実と学習意欲の向上です。

各学校では、授業改善とともに、学級集団づくりに取り組んでいます。年間2回実施しているQU(学級満足度調査)を活用し、ルールやマナーづくりを通して、一人ひとりの規範意識を高めるとともに、友だちに寄り添い、互いに高まり合えるいじめのない学級集団でこそ、自尊感情が高められ、学習への意欲が生まれると考えています。

2 授業改善

学校では、授業改善を主とした「授業づくり研修」を行っています。指導の在り方を 検討したり、新しい授業方法に挑戦したりしています。研修を通じて学んだことは、それぞれの教職員の指導に活かしていきます。

3 NRT・全国学力・学習状況調査の分析

NRTや、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果分析により、児童生徒の学力状況をできるだけ細かく分析し日々の授業改善に活かします。また、県教育委員会作成のワークシート等を活用し、学力の定着を図ります。

今年度は、それらの分析結果をもとに各学校における取組を 10 月 5 日付で保護者の皆様にお知らせいたしました。

4 生活習慣づくり

児童生徒の健やかな成長のためには、保護者、地域のみなさまのご支援が必要です。 特に、メディアとの接触や、携帯・スマートフォンの使用における家庭でのルールづく り、規則正しい生活づくりにおいては、学校と連携した取組が必要です。

各校では、児童生徒の生活習慣づくりに向けて、さまざまな取組を実施しています。 今後ともご理解とご協力をお願いいたします。